

全国有数のカーネーション産地・西尾市で出荷最盛期 「母の日」向けに1日平均10万本をJA選花場より出荷

愛知県西尾市では、5月11日の「母の日」に向けたカーネーションの出荷が最盛期を迎えます。

西尾市は年間生産量1,867万本を誇る、全国でもトップクラスのカーネーション産地。

母の日向け出荷のピークは4月下旬から5月9日にかけて。JA西三河の選花場3か所では、管内の生産者からカーネーションを受け入れ、約2週間のピーク期間には1回の出荷で平均約10万本、多い日では約15万本(いずれも3か所合計)を出荷します。

また、個選のカーネーション生産者もこの時期に盛んに収穫・選花を行い、全国の市場へ出荷しています。



▲選花風景

■ メディア対応日 ■

【集合日時】

4月23日(水) 午前11時

【場所】

JA西三河あぐりセンター西小棚
(西尾市西小棚町4丁目605)

※出荷最盛期のため、出荷場での対応のみとさせていただきます。

※取材を希望される場合は下記の連絡先までご連絡ください。

※選花場で取り扱うカーネーションは出荷・販売前の大切な商品です。お手を触れる際には細心の注意をお願いします。

■ 今年の作柄 ■ (4月15日時点)

夏場の高温によりシーズンを通して影響は出ていますが、生産者の努力により例年同様の品質を維持できています。日照量も確保でき、このまま順調に生育が進めば、4月下旬頃より出荷ピークを迎えます。 ※今後の天候により作柄は変動します



西尾市のカーネーション生産の概要

～バラエティ豊かな西尾のカーネーション～

西尾市でカーネーション栽培が始まったのは戦後間もない昭和20年代から。起伏が少なく水はけのよい土地や、日照時間が長く温暖な気候がカーネーションの生育条件とよく合い、かつて市町村別生産額1位を誇った一色地区をはじめ、吉良地区、小栗地区で盛んに生産されています。

出荷形態は「**共選**」と「**個選**」の2種類。農家はそれぞれのメリット・デメリットを考慮して選択しています。



JA西三河カーネーション共選部会・

小栗カーネーション部会に所属する「**共選**」農家

・部会内で決められた共通の出荷規格・品種を生産

→ 選花などにかかる経費を払う必要があるが、部会ごとにまとめて出荷するため、大口での有利販売が可能&部会のブランド名を使用できる

・収穫した花はそのままJAの選花場に持ち込み

→ 選花・出荷作業の労働力を削減、生産に集中できる



あぐりセンター池田選花場での選花作業

【西尾市のカーネーション生産】(令和5年度、愛知県農業水産局園芸農産課 より)

生産者:43軒

作付面積:約17.29㍏

年間出荷量:18,677,000本

収穫時期:10月～6月

※例年の出荷ピークは母の日(5月第2日曜日)前の約2週間

【全国の生産概況】(農林水産省 作況調査(花き)令和5年産統計表 より)

全国のカーネーション出荷量:1億8,260万本

愛知県のカーネーション出荷量:3,390万本(全国2位、1位は長野県)

都道府県別出荷量割合



《農林水産省 作況調査より抜粋》



母の日向けの定番品種「エクセリア」

バラエティ豊かな

西尾市のカーネーション生産

西尾市内では、スタンダード(一輪咲き)・スプレー(1本の茎に複数の花がついている)あわせて**238品種**もの個性豊かな色とりどりのカーネーションを生産しています。

年間を通じて人気が高いのは「ピンク」ですが、母の日前に需要が高まるのは「赤」のカーネーションです。

一輪咲きの赤いカーネーションでは

「エクセリア」が定番品種として愛されています。